

開閉会式 ※ 選手席に座った状態で行います。監督会はありません。

開会式 (9:00~)

- 1 開会の言葉
- 2 優勝旗返還 (野 牧園中 好 城西中)
- 3 競技委員長あいさつ
- 4 競技上並びに審判上の注意
- 5 閉会の言葉

閉会式 (試合終了後)

- 1 開会の言葉
- 2 成績発表並びに表彰
- 3 競技委員長あいさつ
- 4 閉会の言葉

競技上の注意

- 1 今大会は、2020年度の日本バドミントン協会競技規則に準じて行う。
- 2 タイムテーブルにしたがって進行するが、時間やコートの変更もあり得る。5分以内にコートに入らない場合は失格とすることもある。
- 3 審判はマスクを着け、必要最小限でのコールで行う。また、選手の消毒の指示を行う。
- 4 審判は敗者審判とする。第一回目は割り当てをする。試合に負けた人(組)は、勝者サインの書いてある審判用紙を審判から受け取り、本部まで持っていく。
- 5 審判は、主審・線審ともに誠実なジャッジを心がけること。主審はオーバーコールが可能である。線審のジャッジの間違いを変更できる。また、負けた本人が審判をせず下級生が代わってするようなことがないように。
- 6 試合方法について
団体戦は、ダブルス・シングルス・ダブルスの順で行う。初回戦は3番手まで試合をするが、次回からは2点先取とする。
来年3月に行われる全国大会選考の参考のため、個人戦共通シングルスは5～8位決定戦と3位決定戦を、共通ダブルスは3位決定戦を行う。(ただし、二人二組とも3位)
- 7 団体戦・個人戦ともに21点1ゲームとする。(延長あり)半分の点数に達した時にエンドを替え60秒のインターバルを認める。
共通男女シングルス・ダブルスでは準々決勝を30点1ゲーム、準決・決勝戦は正式ゲームとする。30点ゲームは11点、22点
で60秒のインターバルを認める。チェンジエンド後のインターバルはない。
- 8 団体戦のオーダー用紙は、なるべく早く提出すること。(進行の遅延のもと)
- 9 ゼッケンをつけること。県大会要項に記載されている、30cm × 15cm (下限については良識の範囲内)を範囲とする。学校名だけ(他人のものを借りて、折り曲げて使用しないこと)にならないように。
- 10 大会使用ウェアは、日本バドミントン協会審査合格品とする。
シャツはパンツの中に入れること。ソックスはくるぶしの隠れるものを使用すること。インナー等は見えないように。
- 11 審判に質問できるのは、プレーヤーまたは監督(団体戦)のみである。審判は、堂々とした態度で行うこと。
- 12 ベンチに座れる人の確認
監督1名、マネージャー(生徒)またはコーチ1名、エントリーされた選手
監督・コーチの服装は、中学生大会にふさわしい服装・体育館シューズでお願いします。
- 13 水分補給は持ち込んだトーナメントバッグ等から行い、スクイズボトル(吸い口のついたものは可)のみ認める。
◎ベンチに持ち込めるもの(インターバルのときにベンチからコート内に持ち込める。)
・氷のう ・濡れタオル ・スプレー ・うちわ(叩いての応援は禁止) ・クーラーボックス(椅子の下に入るもの)
◎ベンチにも持ち込めないもの
・携帯電話等情報端末機

※ この大会結果と強化練習の様子により、次の参加(予定)に優先的に選考する。

- ・ 2月 第14回九州中学生大会 団体戦 男女各8名 2/27(土)～28(日) 大分市
- ・ 3月 第21回全日本中学生選手権大会 団体戦 男女各4名 3/26(金)～28(日) 秋田